

これまでの取組 - 1 -

平成27年10月 「まちをまもり、まちをつくる。べっぴ未来共創戦略」策定

平成28年 9月～ 別府市図書館・美術館整備基本構想検討委員会（公募を含む16人）を計5回開催
「まちから考える図書館・美術館づくりワークショップ」を計3回開催。

平成29年 3月 基本構想策定（下記抜粋）

平成29年度 庁内検討委員会を開催し、検討課題を整理

「別府市立図書館及び別府市美術館一体的整備基本構想」（平成29年3月 別府市教育委員会策定）

コンセプト

ひとをつなぎ、ひとが育つ、にぎわいのあ
る交流の場
こころを和ませるリラクゼーションの空間
地域の課題を解決できるコミュニティの拠
点
まちとつながり、街を創り別府を知る情報
発信の拠点



実現のポイント

温泉・観光を取り入れて連携する
専門性を持つ職員を配置し、市民や団体と
連携する
まち全体を図書館・美術館としてとらえ直
す
創造的な学びの場として「ひと」「まち」
を創生する
多様な人々が集うために参加の形を増やす
従来の機能・サービスを拡張させる

これまでの取組 - 2 -

- 平成 30年 4月 別府市図書館美術館整備構想策定等支援業務委託検討委員会 設置
整備構想策定のため、計5回の会議及びオープンプラットフォーム会議を開催
- 平成 31年 3月 整備構想策定（以下要点抜粋）

- 第1回「オープンプラットフォーム会議」開催。
 - オープニング（APU出口学長、OpenA馬場代表、長野別府市長）
 - プレゼンテーション（4団体・個人）
 - オープンディスカッション 164人参加、アンケート回答115人（回答率70.1%）

「別府市図書館・美術館整備構想」（平成31年3月 別府市教育委員会策定）

施設の基本方針

市民が関心を持ち、市民のニーズに対応できる新しい公共空間をつくる。
多層な人々が多様な形で集まりやすい動機・環境をつくる。
ここでの活動を起点に、街なかに賑わいとまちの魅力を広げていく
市民を巻き込み、主体的に利用・運営にかかわる自立的なプロセスとシステムをつくる。
「民間活力」を導入し、新たな魅力創造を生む拠点にする。
公共施設の建設費や維持費を軽減する事業スキームを作る。

本を介して人と人、情報が繋がるハブのような施設を目指し、この場所に訪れる個人の夢ややりたいことをかなえるためのサポートができるような役割を担う。

新たな施設の定義

単一的な機能や役割として存在するのではなく、**既存の機能や役割に加え、多様性が凝縮され人と人、情報と情報が混ざり合う場所である。**

別府市が考える整備の方向性

